



アレルギーってな～に？



アレルギーとは、一般的には安全で、他の多くのみんなが食べても触って大丈夫な物に、ある特定の人が食べたり触ったりすることで、身体に良くない異常な反応を引き起こす現象を言います。

どんな物でアレルギーは起こるの？

どれがアレルギーを起こす物かな？



植物や動物、いろんなものがあるね！



さて、アレルギーを起こすものはどれか分かったかな？ 正解は・・・

全ての物がアレルギーを起こす可能性がある！！

写真に挙げた植物や動物以外にも、全ての食品、化粧品、石鹸、花粉、化学物質、食品添加物、衣服繊維などありとあらゆるものにアレルギーを起こす可能性があります。

アレルギーを起こすとどうなるの？

皮膚が赤くなって痒くなったり(じんましん)、口の中がむずむずしたり、くしゃみ・鼻水が出たり(鼻炎)、目が痒く充血(結膜炎症状)、腹痛・下痢(胃腸炎症状)、息苦しさ(喘息症状)、気が遠くなったり(意識障害)します。

多くの場合は、軽いじんましんや鼻炎で治まりますが、重症の場合は死亡することもあり、病院での検査や緊急治療が必要になることもあります。

どんな食物にアレルギーが多いの？

神奈川県では、小田原市・川崎市・相模原市民約34,000人を対象に食物アレルギーの調査を行ないました(2006年)。調査結果によると、食物アレルギーがある人は平均**10.4%**、年齢では学童期から**20歳代**までで割合が高く、また、原因食品では、**卵、牛乳、魚介類、果物**が多く認められました。